

2012年1月1日～2023年3月31日の間に、
川崎医科大学附属病院で、
脳梗塞に対し血管内治療を受けた患者さんへのお知らせ

課題名：急性期脳梗塞に対する血管内治療の予後と関連する因子の検討

1. 研究の対象

2012年1月1日～2023年3月31日までの期間に、川崎医科大学附属病院において脳梗塞と診断され、急性期に血管内治療（カテーテル治療）を受けたまたは受ける患者さんが対象です。

2. 研究の目的・方法

急性期脳梗塞に対する血管内治療は、近年その有効性が確立し、広く行われるようになった治療です。具体的には、脳の主要な血管の閉塞に対し、血栓を回収したり、血栓溶解剤を流すなどの治療を行うことで、脳血管を再開通させ脳梗塞拡大を防ぐ治療です。この治療は近年急速に広まったものであるため、予後と関連する因子や長期的な経過については不明な点もあります。本研究では、当院で急性期脳梗塞に血管内治療を行った症例について、カルテなどから得られた情報を分析することで、患者さんの予後に関連する因子を明らかにすることを目的としています。研究期間は倫理委員会承認日から2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

本研究に用いる情報は、患者様の基本的情報（年齢、性別、身長、体重など）、脳卒中診療で通常行われる診療（身体所見、神経学的所見、画像所見、超音波所見など）、治療内容とその結果などです。本研究は治療介入をとまわらない既存資料のみを用いた研究であるため、患者さんに新たなリスク・負担はありません。また、経済的負担・謝礼もありません。研究成果は、学会や学術雑誌に発表することがありますが、匿名化を行った後に解析いたしますので個人情報が増えることはありません。研究に関するデータは学会等の発表から5年後に廃棄いたします。

4. お問い合わせ先

この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会で審査され、承認を得たものです。

研究に関してご質問がございましたら、研究責任者までご連絡ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[照会先及び研究への情報の利用を拒否する場合の連絡先]
岡山県倉敷市松島 577 川崎医科大学附属病院 脳卒中科
研究責任者 川崎医科大学 脳卒中医学 臨床助教 合田敏章
TEL:086-462-1111 FAX:086-464-1128
E-Mail:to4aki.5da.takaraduka@gmail.com

5. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究の研究資金は学内研究費（研究責任者と研究分担者の教員研究費）を使用いたします。このことを事前に本学の利益相反委員会へ申告し、適正に管理されています。